
生き心地いい社会、実現へ一歩行動を / 自殺対策講演会 = 鹿児島市

2007.02.05 朝刊 (全 363 字)

自殺を防ぐ機運を高めようと鹿児島県は四日、鹿児島市の県庁講堂で「自殺対策講演会」を開いた。会場いっぱいの約三百人が、自殺対策支援のNPO法人「ライフリンク」(東京)の清水康之代表の話に耳を傾けた。

清水さんは、年間三万人もの自殺者がいる日本社会を「こどもから大人までが、自分を否定せざるを得ない状況に追い込まれている異常事態」と指摘。「『生き心地のよい社会』をつくっていくには、自分自身の問題として自殺問題をとらえ、できることから一歩踏み出す必要がある。それらの行動が連携できる仕組みも大切だ」と強調した。

県は昨年十月の自殺対策基本法施行を受けて、同法に基づく自殺防止対策協議会の設立準備を進めている。講演会出席者へのアンケート調査などをもとに本年度中に有識者による同協議会の設立準備会を開催。来年度中に協議会を設立する。

南日本新聞社